

次世代を担うSC経営者層の育成を目指す  
SC業界唯一のビジネススクール

# SC ACADEMY

SCアカデミー

## 第12期生募集案内

2018年4月～2019年3月

### ◆受講のおすすめ

当協会は、1973年に設立以来、業界の人材育成に重点を置き、現在までセミナー、海外研修、通信教育などの各種プログラムを実施し、SC業界の人材育成に寄与して参りました。

2007年に次世代のSC経営者層の育成を目的として、SCを学術的・体系的に学び、SCの新潮流、将来動向についても理解を深めていただくためのプログラム「SCアカデミー」を創設し、これまでに380名が卒業されました。

現在11期生43名が在学中ですが、このほど第12期生の募集を行うことになりました。

つきましては、貴社の次世代を担う人材の教育機関として、本SCアカデミーを活用していただけますようご案内申し上げます。

### ◆目的と特色

1. 次世代を担うSC経営者層の養成を目的とします。
2. SCを学術的・体系的に学び、SCの新潮流、将来動向についても理解を深めていただけます。
3. ワンウェイでなく、“考える力”をつける授業です。また、講師は各コースの指導教授の他に、各分野で活躍されているゲスト講師をお招きします。
4. 長期のプログラムですので、受講生相互の情報交換やネットワークづくりに役立ちます。



一般社団法人  
日本ショッピングセンター協会

## ●SC序論 (合宿研修)

## Curriculum

指導教授 / 小嶋 彰 (株)船場 顧問・(株)フロンティアリテール研究所 代表取締役(SC経営士)

日程	単元	課 目	内 容 と 目 的
4/12 (木)	1	合宿スタートにあたって	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 合宿研修の目的</li> <li>● SC創世期にて中心となった人々の考え方</li> <li>● SCのビジネスモデルの基本。日米比較</li> </ul>
	2	特別講義「転換期にたった世界、および日本の経済をどう読み解くか？」	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 中長期視点に立った国際経済、社会の推移と日本のポジショニング</li> <li>● 日本経済、社会の目指すべき方向</li> </ul>
	3	SCは「未来を復元する街」となる — 日本で最も訪れたい街・吉祥寺をモデルに、SCの未来を構想する —	<ul style="list-style-type: none"> <li>● SCは人々の訪れたい場であるのか</li> <li>● AI時代の人々の集まる魅力的な環境は</li> <li>● 東京吉祥寺から、その未来を敷衍する</li> </ul>
	4	環境革命世紀の都市と商業	今世紀の最大の課題「環境」に対し、我々は何をすべきなのか？ 商業環境やSCを取り巻く様相を歴史的、批評的、包括的に俯瞰しながら、SC未来を展望する。
			SCアカデミーを100倍楽しむ方法
		<自己紹介・交流会>	
4/13 (金)	5	SC非常識論	現状肯定せず、視野を広げて新たなSC像を模索しよう。
	6	経済社会における小売商業の役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 消費生活データの確認</li> <li>● リアル商業とEコマースの今後。SC業界の対応を考える。</li> <li>● オリンピックに向けて商業施設の役割と準備-インバウンド顧客への対応戦略を含む-</li> <li>● 地方経済活性化の主軸としての商業活動</li> </ul>
	7	グループディスカッション	次世代SCのヴィジョンと具体的戦略
			総 括

## ●SC総論Ⅰ

## Curriculum

指導教授 / 望月 照彦 構想博物館 館主

日程	単元	課 目	内 容 と 目 的
4/20 (金)	1	「人々は、社会に温もりの場を求めている」 — 未来型SCは、システムやテクノロジーを超えて、生きる喜びの場を提供する —	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 人類学者レビー・ストロースは、現代社会を「冷たい社会」と評した</li> <li>● SCは、「暖かい社会」の堡壘である</li> </ul>
4/27 (金)	2	「社会を進化させる商空間(カフェ)のデザインとは」 — 時間、空間、人間(じんかん)を繋ぐ、技法と思想 —	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 人々は、都市社会の中で楽しく美しい出会いを求めている</li> <li>● 「カフェ」の新しい機能のデザインを考察</li> </ul>
5/11 (金)	3	「小さな島(小豆島)からでも、世界企業・グローバル事業は生まれる」 — 辺境からのブランド産業創造の実践と思念 —	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 人口3万人の小豆島からでも、世界を市場とする事業は不可能ではない</li> <li>● 小さな企業の、大きな「志」を熱く語る</li> </ul>
5/18 (金)	4	「アメリカ西海岸のリトル東京に、日本文化複合体をテーマにSCを創る」 — SC先進地のロスに、逆進出する戦略とは —	古き日本人街だった「リトル東京」の文化遺産を生かし、未来の国際的カルチュラルコンプレックスの創造に挑戦する
5/25 (金)	5	「利他(他人を生かし、幸せにする)の思想を基盤にした事業経営の革新」 — 利己的社会思想を超越する経営手法の創造 —	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自己だけが生き残る利己的社会の思想とマーケティングはすべてを壊滅させる</li> <li>● 他人を生かす市場創造の倫理と手法は</li> </ul>
6/1 (金)	6	「社会的記憶を資源とするレジリエンス観光の時代の都市商業の存在意味」 — 観光大国としてのポーランドの観光戦略とは —	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 都市観光の時代に、旧市街地と商業を復興させたワルシャワが、注目されている</li> <li>● その観光開発の手法と哲学から学ぶ</li> </ul>

## ●SC総論Ⅱ

## Curriculum

指導教授 / 彦坂 裕 (株)スペースインキュベータ 代表取締役・上海視覚芸術学院徳稲大師学院教授・日本建築家協会会員

日程	単元	課 目	内 容 と 目 的
6/8 (金)	1	メディア社会、知識社会の中のSC — 流動する社会における商業の存在形態 —	コミュニケーションのあり方、先端技術の展開が人間そのものを変容させようとするなか、SCをめぐる未来価値を考える。
6/15 (金)	2	ランドスケープとSC — 景観創造、街づくり、エココンシャスとは何か —	ランドスケープ的視点は今後のSC創造に欠かせない。場の創造を景観からエコまでその原理や指針を展開する。
6/22 (金)	3	タウンマネジメントの現代的位相 — 街とSCの再生、主として海外事例から —	街の再生、活性化としてのタウンマネジメントの概念を、実践事例を中心にその活用、課題などを包括的に考察する。
6/29 (金)	4	SC音環境創造と癒しの空間論 — 環境価値創造の現在 —	音や癒しがこれからの商環境、SCに何をもたらすのかを、その理念展開も含め実践的視点で語る。
7/6 (金)	5	コマーシャルシティ — 集客と滞留の極点を形成する消費空間の実践 —	集客・滞留拠点の資質から、イベントからリゾートに至る消費環境の特性、デザインのもつ意味を、体系的に考察する。
7/13 (金)	6	グループディスカッション SC総論Ⅱのまとめ	ディスカッションのテーマ：「SCにおける革新、創造とは何か？」 — 過去を批評的に検証し未来の種をつむぐ —

## ● SC経営実践論

## Curriculum

指導教授／矢木 達也 (株)ピーエーシー・アーバンプロジェクト 代表取締役社長(SC経営士)

日程	単元	課 目	内 容 と 目 的
8/24 (金)	1	SC経営戦略と付加価値創造	業際が無くなってきている商業ビジネスにおいて、SCとして新たな付加価値創造にどのようにして取り組んでいけばよいかを考える。
8/31 (金)	2	SC事業経営計画	長期計画から年度予算まで、経営計画の立て方、事業性評価などの手法を学ぶ。
9/7 (金)	3	リート・ファンド視点でのSC経営・SC開発	ファンドビジネスの実際とSCへの取り組み、AM事業とPM事業の相互理解などを学ぶ。 (投資目線、運用手法、アセットマネジメント、開発型ファンドなど)
9/28 (金)	4	SCデザインのグローバルスタンダード	SCデザインの世界潮流と事例を知る。 (メインストリート、コミュニティ空間、複合開発、歴史的建造物再利用など)
10/5 (金)	5	流通の変革とショッピングセンター	イーコマースがもたらす流通構造とリテ일러ーの変化を知り、SCの役割を考える。
10/26 (金)	6	SCにおける「食」を考える	食物販、飲食店のトレンドと戦略などを学び、SCでの食物販の可能性、飲食ゾーンのあり方を考える。
11/2 (金)	7	グループディスカッション — SC経営実践論のまとめ —	ディスカッションのテーマ：「未来技術を活かした次世代SCを考える」

## ● 特別演習

## Curriculum

指導教授／太田 巳津彦 (株)ワイ・キャップコンサルティング 代表取締役(SC経営士)

日程	単元	課 目	内 容 と 目 的
7/20 (金)	1	演習Ⅰ 「お客様目線に立つ。購買心理を理解する」	リアル店舗ならではの購買行動「衝動買い」について、顧客目線で考察する。
8/3 (金)	2	演習Ⅱ 「ケーススタディ 戦略を立案する」	事例に基づいて、経営戦略を作成。外部環境の分析、内部資源の評価などを通じて、クロスSWOT分析をし、戦略を立案。
9/21 (金)	3	演習Ⅲ 「元気なまちに学ぶ その1」	元気なまちを訪問し、フィールドワークを行う。その際、関係者へのヒアリング、顧客や店舗の観察調査も行う。(候補地：川越)
10/19 (金)	4	演習Ⅳ 「元気なまちに学ぶ その2」	フィールドワークに基づいて、元気の源を解明するとともに、まちの将来ビジョンを作成し、プレゼンをしていただく。

## ● ゼミ方式 (いくつかのグループに分ける)

日程	単元	内 容
7/27 (金)	1	卒論書き方講座(冒頭60分予定) 各コースのフォローアップ、卒業論文作成指導 他
9/14 (金)	2	各コースのフォローアップ、卒業論文作成指導 他
10/12 (金)	3	各コースのフォローアップ、卒業論文作成指導 他
11/9 (金)	4	各コースのフォローアップ、卒業論文作成指導 他

## ◆第12期 SCアカデミー開催要領

1. 会場 (一社)日本ショッピングセンター協会(東京都文京区後楽1-4-14 後楽森ビル15F)
2. 期間 2018年4月～2019年3月(授業は11月中旬まで実施予定)
3. 時間 金曜日 18:30～20:30 ※授業によって変更になる場合がございます
4. 受講料 432,000円(本体価格400,000円 消費税32,000円)
5. 対象 SC協会会員企業の中堅社員(SC事業に関連した職種で5年以上の実務経験を有すること)
6. 定員 40名以内(定員に達し次第締切とさせていただきます)
7. 担当指導教授(敬称略)
  - 統括指導教授 大甕 聡 (一社)日本ショッピングセンター協会 顧問・SC経営士会 会長 (SC経営士)
  - SC序論(合宿研修/7単元) 小嶋 彰 (株)船場 顧問・(株)フロンティアリアル研究所 代表取締役 (SC経営士)
  - SC総論I(6単元) 望月 照彦 構想博物館 館主
  - SC総論II(6単元) 彦坂 裕 (株)スペースインキュベータ 代表取締役・上海視覚芸術学院徳稲大師学院教授・日本建築家協会会員
  - SC経営実践論(7単元) 矢木 達也 (株)ビーエーシー・アーバンプロジェクト 代表取締役社長 (SC経営士)
  - 特別演習(4単元) 太田 巳津彦 (株)ワイ・キャップコンサルティング 代表取締役 (SC経営士)
  - ゼミ方式(4単元)

## 8. お申し込み・お問い合わせ先

(一社)日本ショッピングセンター協会 教育研修部/與田・増木<sup>よでん</sup>  
 〒112-0004 東京都文京区後楽1-4-14 後楽森ビル15F  
 TEL. 03-5615-8523 FAX. 03-5615-8539 E-mail. scac@jcsc.or.jp

## 9. お申し込み締切日

2018年1月31日(水) ※定員に達し次第、締切とさせていただきます。

## 10. 受講申込者及びご担当者様へ

- 下記の受講申込書を提出後、①実務経歴書及び所属企業の推薦状と②1,200字程度の小論文(何を学びたいか、受講の目的)の提出をお願いいたします。受講申込者については、①実務経歴書、②小論文に基づいて、入学の審査を行います。審査の結果によっては、受講をお断りする場合がありますので、ご了承ください。審査結果は、2月の末にご連絡いたします。協会事務局より受講申込書を提出後に、①のフォーマットのデータを送りいたします。①、②につきましては、2018年2月7日(水)までに必ずご提出願います。
- 本アカデミー修了者は、SC経営士二次試験が免除になります。

-----キリトリ線-----

<FAX:03-5615-8539> 與田・増木 行

2018年4月～2019年3月

## SCアカデミー第12期受講申込書

企業名: \_\_\_\_\_ 担当者部署: \_\_\_\_\_ 担当者名: \_\_\_\_\_  
 〒 \_\_\_\_\_ TEL. \_\_\_\_\_  
 住所: \_\_\_\_\_ FAX. \_\_\_\_\_ E-mail \_\_\_\_\_ @ \_\_\_\_\_

受講者名	部署・役職	E-mail
(フリガナ)		@
(フリガナ)		@

※振込銀行名: \_\_\_\_\_ 銀行 \_\_\_\_\_ 店から \_\_\_\_\_ 銀行(協会指定)へ \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日振込予定

個人情報利用目的について 当協会は、今回取得します皆様の個人情報を主に「SCアカデミー」を実施するために利用します。その円滑な実施のために名簿を作成して、参加者や講師に配布します。詳細は当協会ホームページを参照ください。 <http://www.jcsc.or.jp/>